



# らぶりー南郷 2015

学校だより

<第28号>

平成28年3月10日

文責 教頭 高松 祐士

## 6年生を送る会 「ありがとう」の気持ちを伝えました。

3日(木)の2校時に「6年生を送る会」が行われました。  
各学年ごとに、もうすぐ卒業する6年生に感謝の気持ちを伝えようと一生懸命練習してきました。それぞれの出し物に贈る言葉を添えて、6年生へのはなむけを行いました。また、6年生は「さよなら友よ」のすてきな合唱で弟や妹たちへ「ありがとう」の気持ちを伝えました。

1年生	歌「未来へ」
2年生	ダンス「RYUUSEI」
3年生	歌「ともだち大すぎ」
4年生	歌「あとひとつ」
5年生	歌「友達はいいもんだ」の替え歌



6年生が1年生と手をつないで入場



4年生の出し物



3年生の出し物



## 宮城教育大学の准教授による「特別授業」 歌声と響きにビックリ!!

2日(火)の3校時に宮城教育大学の橋本牧先生に来校いただき、6年生で音楽の特別授業をしていただきました。

子供達は最初は緊張していたようでしたが、橋本先生の話や説明に興味をもって聞いたり、頷いたりしながら卒業式の歌「さよなら友よ」を練習しました。卒業に向けて6年生の気持ちが歌声の中で一つになっていく様子がわかりました。

## 6年生が「校長先生とのお話会」

2月末から業間や昼休み時間に、6年生が校長先生とお話会をしました。卒業を前に、6年間の思い出や今の気持ち・思いなどについて話をしましたが、校長先生は『子供達の成長に驚くとともに感動しました』と語られていました。このお話会の様子や内容について、2日のお話朝会(テレビ放送)で全校児童にも紹介しました。

10月から行われていた校舎正門前の「JAみどりの南郷支店空き地」の工事が、2月に終了しました。児童の送迎等でご迷惑をおかけしておりましたが、今後は従来通り利用することが可能となりましたのでお知らせいたします。なお、当場所はJAの農機具置き場と倉庫があり、車両やフォークリフト等が走行しておりますので、ご利用される際は十分に注意するようお願いいたします。また、児童の通学路ではありませんので、登下校の際は通らないようお声がけください。

## 「みやぎ鎮魂の日」によせて

校長 須藤 清

明日、3月11日（金）は「みやぎ鎮魂の日」です。宮城県では、東日本大震災で亡くなられた方々に追悼の意を表し、震災の記憶を風化させることなく後世に伝えるとともに、震災からの復興を誓う日として、「みやぎ鎮魂の日を定める条例」を制定し3月11日を「みやぎ鎮魂の日」と決めました。震災から5年となる今年の「みやぎ鎮魂の日」を迎えるにあたり、県内では「みやぎ鎮魂の日」を定めた趣旨のもと各種の取り組みが行われます。美里町では「震災で犠牲になった方々の冥福を祈り、震災発生時刻14時46分に黙とうを捧げる。」ことを行います。

一方各種調査等では、復興がなかなか進まないことや、児童生徒から高齢者まで、様々な心の傷を抱えた人々の回復が難しく、ケアが追いつかないことが報告されています。宮城県教育委員会では、震災を乗り越え、様々な状況下にあっても、これからの社会に夢や希望をもって生きていこうとする児童生徒の育成に全力をあげています。本校でも、職員一同この日の意義を胸に刻み、宮城県の公務にあたる者として働いていく所存です。ご家庭でも、祈りとともに、これからのお子さんの成長について考え合う一日にしていいただければ幸いです。

最後に、幼稚園時代に被災し、入学後に書いた児童の作品を紹介します。

（出典：石巻市立開北小一年（当時）こまつ こうせいさん 「作文宮城60号」より）

まきこ先生へ

先生 きこえますか？

先生 ぼくのこと見えてる？

先生 つなみこわかった？

ぼくは こわくてないたよ

いっばい いっばいないちやった

そつえんしきに みんなで先生に

ありがとうといいたかった

先生 ぼくは一ねんせいになったよ

先生に見せたかった

先生 ぼくがんばるよ

先生 ずっとお空から見ててね

先生 やくそくだよ

先生 ありがとう